

		項目	はい (人)	いいえ (人)	未記入 (人)	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	18	0	0	・コロナ禍ということもあり、給食の時には距離等の配慮を実施している。 ・活発な児童も多いため、環境への配慮、児童のために戸外を活用するなどの工夫は必要。
	②	職員の配置数は適切であるか	17	1	0	・配置等をみんなで協力し合っているが、職員の休みが重なると難しい日もある。 ・状況によっては、必要性を感じる時もある。 ・基準は遵守しているが、現場では状況によっては、ヒヤリとする場面がある。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	0	0	・環境整備や5Sの取り組みの中、わかりやすい生活空間・シンプルな構造となっていると思う。 ・個に応じて、環境作りを工夫している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	0	0	・毎日の清掃や週末に清掃・安全点検を行っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	16	2	0	・限られた職員になる場合もあるが、積極的に業務改善提案を出す取り組みを通して、参画している。 ・年間を通して、目標を掲げるなど多くの職員が参画できるよう投げかけている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	18	0	0	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	18	0	0	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	17	1	0	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	18	0	0	・土日祝に研修会があるため、参加が難しい人も多いと感じる。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	18	0	0	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	18	0	0	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18	0	0	・コロナ禍で困難もあるが、できることを考え取り組んでいる。支援計画を立案する職員は、ガイドラインを読み具体的な支援に繋がるよう努めている。 ・抽象的な表現の場合は、保護者への丁寧な説明が必要だと考えている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18	0	0	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	17	1	0	・クラスミーティングなど実施しクラス職員と話し合ったり、各リーダーで活動の立案を計画している。 ・話し合いの場面は増えたが、意見の折り合いをつけることが難しいと感じる場面もあるため、今後も児童のための療育活動が立案できるよう話し合える機会や時間を確保する。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	18	0	0	・子どもたちが興味を持っていることや、子どもからの発信を取り入れて活動を工夫している。 ・季節や行事を意識したプログラムが考えられていると思う。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	18	0	0	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	16	2	0	・勤務時上、職員が見通しが持てていない時もあるため、ミーティングや引継ぎの機会の重要性を感じる。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14	4	0	・限られた人数で実施する場合もある。 ・送迎等で夕礼に参加できなかったり、他の業務で中止になったりすることがあるため、一定の時間を確保していきたい。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	18	0	0	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	18	0	0	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	18	0	0	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	18	0	0	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	13	1	4	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	12	1	5	

		項目	はい (人)	いいえ (人)	未記入 (人)	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18	0	0	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18	0	0	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	18	0	0	・研修会等を通して学ぶ機会を大切にしている。 ・他の事業所の見学等を通して、更なる療育の充実を図りたい。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	11	1	・地域の公園にて、地域の子どもたちと挨拶や遊び、場所を共有したりすることがある。 ・コロナ禍でもあるが、合同で活動できる機会があれば良いと思う。 ・毎日通園をしている児は、そのような機会は持てていないと感じる。 ・現状としては、計画が立案できていない。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	15	2	1	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	17	0	1	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	16	1	1	・プログラムに沿ってではないが、家族支援の視点を大切に支援を継続的に行っている。 ・ペアトレーニングではないが、交流会や研修等を通して保護者支援の充実につなげている。
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	16	1	1	・契約時に説明はしているが、質問があった場合はその都度説明している。 ・報酬に係る件についての説明は、もっと丁寧でもいいと思う。(コロナ禍の電話算定など)
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	17	0	1	
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	17	0	1	・電話での対応や個別で懇談をする時間を設けている。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	16	0	2	・コロナ禍で難しいがオンラインで実施している。 ・保護者会の代表の方と連携を図り、充実に努めている。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	0	1	
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	16	1	1	・いつもと違う活動や活動の変更等のある時は、早目に保護者への周知が必要と思う。
	㊲	個人情報に十分注意しているか	17	0	1	
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	17	0	1	
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	6	2	・地域活動(公園や近隣の散歩等)を実施している。 ・コロナ禍で招待することは難しい。 ・見学の受け入れや近隣の郵便局やスーパーなどは活動で利用している。
非常時等の対応	㊵	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	16	1	1	・マニュアルは適時策定されている。一方で、そのマニュアルの活用については、今後は検討が必要。
	㊶	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16	0	2	
	㊷	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	16	1	1	・個々に応じてマニュアルを作成している。
	㊸	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	18	0	0	
	㊹	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	18	0	0	
	㊺	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	18	0	0	
	㊻	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	18	0	0	・身体拘束の同意書をもとに、保護者へ伝えている。(年2回)

【全体としての改善目標】

① 環境、体制整備・業務改善⇒

・感染症及び災害対策を講じ事業の継続を図る。また、研修や訓練の実施及び検証を行う。
 ・5 Sの取り組みを継続・強化し、職員の意識改革及び業務の効率化に努める。

② 療育内容の充実と専門性の向上⇒

サービス提供時間を短縮し、研修会等の時間を確保することで、専門性及び実践力を高め、適切な支援を提供する。

③ 保護者支援の充実⇒

チェックシステムを活用することで、センターでの取り組みをタイムリーに知っていただくよう取り組みを継続する。
 また、保護者交流会及び学習会、個人懇談など年間計画に基づいて実施し、支援の充実を図る。

④ 地域の連携・つながり強化⇒

近隣施設や地域住民との交流を深め、発達障害への理解及びセンターの取り組みが広がるよう努める。

⑤ 非常時の対応⇒

職員が発生時に適切な対応ができるよう、マニュアルに基づいた訓練実施及び見直しを図る。

		項目	はい (人)	いいえ (人)	未記入 (人)	改善目標、工夫している点など
--	--	----	-----------	------------	------------	----------------